

中禅寺湖に來訪した釣り客による県内消費額

令和2（2020）年3月
栃木県水産試験場

- 日光国立公園内に位置する中禅寺湖は、日本を代表する「マス釣りの聖地」として知られており、毎年多くの釣り客が訪れます。
- 2011年に発生した原発事故に伴う魚類の放射性物質汚染によって、一部魚類の持ち出しが禁止される中、中禅寺湖漁業協同組合と県は**キャッチ&リリース（C&R）制**というルールを導入して**マス釣り**を解禁させることで、釣りを通じた**誘客**に取り組んできました。
- そこで、水産試験場では「**釣りによる地域振興**」という観点から、釣り客の**県内**での消費行動について調査しました。

C&R制導入によって創出された県内消費額は**7.7億円**！

- C&R制が導入されて以降、C&R制を目的とした釣り客が**延べ9万2千人来訪**※
※平成24（2012）年から平成30（2018）年の7年間の合計値
※ヒメマス（平成29（2017）年以降）の釣り客は除外
- 上記釣り客によって**7年間で約7.7億円**の県内消費が創出された※
※平成30（2018）年以外の年度については、全ての釣り客が平成30（2018）年と同様の消費を行ったと仮定して計算

【釣り客1人1日あたりの消費額単価（平成30（2018）年）】

釣り方	交通費	宿泊費	土産代	飲食費	入場料 (遊漁料、施設利用料等)	その他 (船舶代等)	消費額
マス岸釣客	1,460	1,131	245	1,693	2,045	446	7,020
マス船釣客	1,621	2,057	563	1,562	2,039	6,734	14,576
【参考】 ワカサギ釣客	1,603	569	359	1,601	1,176	2,920	8,228
【参考】 観光客	2,286	2,374	1,955	2,152	381	539	9,687

※観光客の消費額については「平成30(2018)年度栃木県観光動態調査報告書（栃木県産業労働観光部観光交流課）」のうち、県内を訪れた日本人観光客の県内消費支出額を用いた（一部改変）

本研究の一部は、（国研）水産研究・教育機構中央水産研究所委託事業「採捕制限下の遊漁・漁場の実態や漁場利用に関する調査」によって実施しました。